

## 事務事業評価における総括

部 局 名	市立病院事務局	記入責任者	内藤 喜之
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>病院総務課における政策的事業である「市立病院の医療機器に関する事務」は、現金の支出を抑えるために、診療上そのままでは支障をきたす医療機器に絞り購入したためA評価としています。「市立病院の建設改良に関する事務」については、鉄骨組み立てに使用する高力ボルトの調達遅延に伴い、竣工を2月末から5月末に延長したためC評価としています。</p> <p>医事課では、政策的事業である「市民健康講座の開催」「各種医療相談」ともに目標値を超えた実績であったためS評価としており、おおむね順調に進捗しています。</p> <p>施策指標で示す病院経営状況を表す経常収支比率、医業収支比率は上昇したものの、病床利用率は前年度より下がっており、いずれの数値も目標を達成することができていない状況です。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>A評価とした「市立病院の医療機器に関する事務」については、現金の支出を抑えるために、診療上そのままでは支障をきたす医療機器に絞り購入したため、指標の達成にいたりませんでした。C評価とした「市立病院の建設改良に関する事務」については、部材不足により期間内に竣工が期間内にできなかったためです。</p> <p>入院収益を上げる取組や新たな施設基準の取得など安定的な収益確保のための取り組みを行い、最終的な事業収益も前年度比2.2%の増となりました。しかし、高額医薬品の購入増による材料費や経費の増加などにより、事業費用も増加しており、経常収支比率、医業収支比率ともに目標を達成できず、経営状況は良くなっていません。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>医療機器の購入に関しては、医療機器等整備委員会を随時開催する事によって、計画的な購入に努めてまいります。</p> <p>地域における基幹病院として良質な医療を継続的に提供していくため効率的な経営を求められており、経費節減や収入の確保に積極的に取り組み、経常収支比率及び医業収支比率を上げていきます。</p>			